

研修内容

大学付属の語学学校で英語で英語を学ぶ



世界で最も綺麗なキャンパスであるというオーストラリアのクイーンズランド大学内の語学学校ICTEで約5週間、世界各国の人々と一緒に集中して英語を勉強します。

ホームステイで現地の文化を学ぶ

滞在中は、現地のお宅にホームステイをさせていただき、英語に囲まれた環境で過ごすことができると同時に、文化の違いや生活スタイルの違いなどを学びます。



- ・ 毎日2時間の授業×2コマ、計4時間の授業で、様々な国から来た生徒達と、密な英語学習をすることができました。
- ・ 常に英語を話す環境にいたので、日本ではなかなか身につけるのが難しかった英会話能力の向上を実感しました。
- ・ ネイティブの先生からは、ただ英語の話法や文法等を教えていただくだけでなく、生徒達それぞれの英会話能力の分析の後、自分に足りない力や、そのためにはどのような学習をすればよいかなどを教えていただきました。
- ・ 共に授業を受ける生徒達も、年齢や文化など様々なものが異なり、ちょっとした授業前後の会話も、英語を使って楽しめました。

ホームステイ

ファミリー

- ・私のホストファミリーはポーランドからオーストラリアへやってきた人でした。
- ・私のホストファミリーはマザーが一人だけでしたが、ほぼ毎日友達が家にいて、にぎやかでした。また、ほかの国の人と一緒にホームステイしている人もいました。
- ・僕のホームステイファミリーはファザー、マザー、息子3人、ペットの犬2匹という家族構成でした。家族構成やペットの有無は留学前に希望を書くことができるので、ある程度希望に合ったホストファミリーにホームステイできます。



ファミリーとの過ごし方

- ・ホストファミリーは慣れない土地で過ごす私にとっても優しくしてくれて、色々なところに連れて行ってくださることもありました。
- ・携帯のゲームを一緒にやったりして楽しくコミュニケーションをとることができました。また、分からないことを聞くと親切に教えてくれるので、積極的に質問すべきだと思います。普段の生活において、自分から壁を作らない限り、ホストファミリーとの話は自然と生まれ、英語でのスピーキングをする機会が多くなるので、英語能力の向上につながると思います。
- ・私は学校から帰ってきてずっとリビングでファミリーといっしょにテレビを見ることが多かったです。特にマザーとは好きなドラマが一緒だったので理解できないところをよく教えてもらいました。また、ファミリーはアウトドアな方だったので急に公園に行ったりファミリーの友達を呼んでパーティーが始まったりと日本では少し考えられない生活で楽しかったです。
- ・ホームステイ先のホストファミリーが今まで家に来た留学生が持ってきた観光本などを置いてくださっていたので週末の計画を立てるのにとても役に立ちました。食事の時に訪れる予定の場所のことを色々教えていただきました。

食事

- ・ポーランド出身のファミリーだったので、出される料理がポーランドの料理が多く、あまり日本では見かけることのない食事をする事が多かったです。
- ・私のファミリーは毎日、朝食を作ってくれたので自分で用意する必要がありませんでした。また、どんな料理でも口に合っているかを聞いてくれて、朝食を変えてほしいと伝えるとすぐに変えてくれました。

ルール

- ・ホームステイ先にはそれぞれ家のルールがあります。私のホームステイ先ではルールが書いてある紙がありました。週に何回洗濯するか、門限は何時までなのかなど色々あります。特にシャワーの使用時間はオーストラリアの人は水を大切にするので4分以内に済ませないといけませんでした。



放課後・休日の過ごし方

ホームステイ先は老夫婦でとても優しく接してくれました。食後のおばあちゃんの話は少々長かったのですが、昔の出来事など勉強になるお話がたくさんあったので面白く何よりリスニングのトレーニングになりました。食事に関しても日本人の口に合う食事で食べやすかったですが、ホームステイ先によって多少の差はあるようです。最終日はお互いに抱き合って泣いている家族もありました。向うの方たちはとてもハートフルで人情味あふれる人たちなのでオープンマインドで接することが大切であると思います。



放課後はお昼を学校のカフェテリアで食べたり、近くのショッピングセンターで過ごすことが多かったです。家に帰ってからはホストファミリーと夕食をいただき、雑談して過ごしました。週末は友人とモートンアイランドやシドニー、サウスバンクに旅行に行きました。宿や飛行機は学校内のトラベルセンターで予約することができます。自分たちで飛行機をとったり、ホストファミリー以外の人とコミュニケーションをとるのは勉強になりました。



放課後はフェリーかバスを使ってシティやサウスバンクなど近場で観光したり、ご飯を食べたり、バーベキューをしたり、遊んだりしました。天気の良い日はフェリーに乗ることをオススメします！風が気持ちよく景色がきれいです。休日はフェリーとバスに加え、飛行機や電車などを使って少し遠い場所へ行きました。飛行機ではシドニーやメルボルン、ケアンズなどに、電車ではウォーターワールドやドリームワールドに行くことができます。学校で紹介されているツアーに参加している人もいました。

ICTEでの授業は13:00に終了するので、放課後でも十分に遊びに出かける時間があります。シティでショッピングを楽しんだり、コアラやカンガルーを見に行ったりしました。また、授業で仲良くなった外国人の友達とバーベキューに行ったり、ホストファミリーが山の展望台に連れて行ってくれたり、留学ならではの体験もできました。休日は少し遠出してシドニーやゴールドコーストも満喫してきました。5週間しかないので現地で時間を無駄にしないためにも、日本にいるうちにある程度休日行きたい場所をピックアップしておくことをオススメします。



ホストファミリーと会話したり一緒にテレビを見たりして過ごしました。そして、オーストラリアのことや日本のことについて話す中で、リスニングを鍛えることができました。語学研修終盤ではおおよその会話は聞き取れるようになりました。しかし、ホームステイ先では最初のうちはあまり言葉が通じないこともありました。これは単語の発音や文法がネイティブと異なるので伝わらなかったと思います。しかし、身振り手振りを使うことで何とか伝えることができました。日本ではなかなかできないとてもいい経験になりました。

今後の研修生へのメッセージ

<物質工学課程>

私は現地で英語が伝わらなかつたり、聞き取れなかつたりして、何度も悔しく感じました。留学に行く前に英語をもっと勉強しておけば、より多くのことを吸収できたと思います。英語圏で生活することで、実際によく使われる言い回しを学びました。刺激的な毎日であつという間に 5 週間が過ぎてしまうので、やりたいこと、学びたいことなど目的をもって留学に挑んで欲しいです。

<応用生物学課程>

まずホームステイ先ですが庭付きの大きな家でした。私がホームステイした家庭は子供がひとり立ちした女性の 1 人暮らしだったので家庭内での会話はあまりありませんでした。しかし水の使用や洗濯掃除などについてはそれほど制限がなく良かったです。また外泊等にも寛容でした。

次にクイーンズランド大学での学校生活についてですが私がいたクラスは日本人が大半を占めていたので授業間の休み時間はあまり英語を話せなかつたです。授業は文法を英語で学びなおしましたが今までに学習した内容ですが、英語での授業は刺激的でした。学校施設は映画館やフードコート、薬局などがあり、日本の大学にない施設があり新鮮でした。午後には様々なアクティビティがあり楽しめました。

最期に、できるだけ日本で英語を勉強してから行ったほうが良いと思います。なぜなら上の教室のほうが日本人が少なくなり、英語に触れる機会に恵まれるように思うからです。

<デザイン・建築学課程>

英語に囲まれた環境の中で英語でのコミュニケーション能力を高めたいと思っている方は是非参加してほしいです。正直にいうと語学学校には日本人が多く、完全に英語というわけではありませんが、積極的に日本人以外の友達を作り、日本人同士でも英語でコミュニケーションをとるように心がければ絶対に英語に対する抵抗感がなくなっていきます。私は大学のアクティビティで知り合った交換留学生の友達と地域のフェスティバルに参加したり、美術館に行ったりできて、積極的に色々なアクティビティに参加してよかったなと思っています。英語はもちろんですが、様々な国の価値観や文化も学びました。オーストラリアから日本に帰国してからは「英語で話す」ということに抵抗がなくなったので、アルバイト先に外国のお客さんが来ても以前より対応できるようになり、より楽しく接客できるようになったと実感しています。5 週間と短期の留学ですが、本当に濃い 5 週間でした。治安も良いし、人もみんな良い人なので初めての留学に良い場所だと思います。色々困難もありましたが、その困難を乗り越えるたびに新しい発見があり、成長を感じられました。また、日本での自分の今までの生活を客観的に見られる機会にもなり、自分を見つめ直すきっかけにもなったと感じています。

